

9月定例教育委員会議事録

- 1 開催日 平成30年9月27日(木)
- 2 会場 大井川庁舎 2階 第3委員会室
- 3 開会 午後2時33分
- 4 出席委員 佐藤美代志教育長
大石智之委員(職務代理者)
北川利男委員
奥川重子委員
山竹葉子委員
- 5 会議出席者 中野俊光教育委員会事務局長
見原照久こども未来部長
小長谷宏二(公財)焼津市振興公社常務理事兼焼津文化会館長
橋本敏明教育総務課長
近藤和人学校教育課長
鈴木孝之学校給食課長
富田明裕社会教育課長
杉本弘行文化財課長
志賀美之図書課長
石川壽男ディスカバリーパーク焼津館長
鈴木利明子育て支援課長
増田洋一保育・幼稚園課長
松永年史スポーツ課長

書記 日下部充教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

佐藤教育長	<p>【午後 2 時 33 分開会】</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>お忙しい中、9 月定例教育委員会に御出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>まず、開会に先立ちまして、1 点報告ということでお願いします。この間の 9 月市議会定例会におきまして、大石委員が 10 月 6 日で第 2 期目が終わりましたので 3 期目の再任を提案しましたところ、総員賛成ということで議決されましたことを御報告させていただきます。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条 2 項の規定により、教育長職務代理者を教育長が指名することとなっております。このことから、教育長職務代理委員として、大石委員を指名させていただきたいと思っております。今後も、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、本日の議事録署名人は北川委員と山竹委員となりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議第 10 号、平成 30 年度焼津市教育委員会事業評価報告書について、説明をお願いします。</p>
橋本教育総務課長	<p>(事前配付資料により全体の概要説明)</p> <p>(説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、毎年度、総合計画の施策マネジメントシートを利用して自己点検・評価を行い、報告書を作成した後、議会に提出するとともにホームページに公表する。 ・8 月に焼津市教育委員会事業評価委員会を 2 回開催し、委員による協議を行い報告書（案）としてまとめた。
鈴木子育て支援課長	<p>(事前配付資料により「子ども・子育て支援の充実」について説明)</p> <p>(補足説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 次総合計画においては、教育委員会の職務権限部分と市長の職務権限に属する部分の一つの施策の中に位置付けられ、行政評価においても一緒に評価していることから、教育委員会関係以外にも関する記述も含まれている。 ・より質の高い保育の提供を目的として、市内の幼稚園、保育所、公立・私立の枠を超えて組織した「焼津市乳幼児教育推進会議」を中心に、課題検討や保育者資質向上研修会等を実施し、保育者のスキルアップを図った。また、認定外保育施設、小規模保育事業所や子育て支援センターなどにも参加を呼びかけ、オール焼津で取り組んでいる。 ・幼稚園教育要領、保育所保育指針の改定に伴い、幼稚園も保育所も幼児教育を行う施設として区別がなくなっていることから、ともに将来を担う子どもたちを育てるための質の高い乳幼児教育、保育の提供をしていく必要があると考えている。

事前に御質問をいただいておりますので、子育て支援課に関する御質問にお答えをさせていただきます。山竹委員からは、報告書4ページ2の②A対象指数を「世帯数」とした理由を教えてください。という御質問をいただいておりますのでお答えします。

第6次総合計画の「子ども・子育て支援の充実」施策では、対象を「子ども」・「子育て世代」と定めており、この対象の大きさを示すものとして「18歳未満の子どもがいる世帯数」、「16歳以上50歳未満人口」を対象指標と定めております。この施策を推進するために各事業を実施していきます。各事業の実施にあたっては子どもだけに対するものでなく、子どものいる世帯が対象となるものも多くあり、包括的な指標として対象指標を「世帯数」としてしております。また、児童福祉法において、児童を18歳に満たない者と定義されておりますので、18歳未満の子どもがいる世帯数と定めたものです。また、成果指標はこの施策事業によって対象が意図とする姿になったかを示す（達成度を表す）指標となっております。そのため、「子どもが健やかに育つことができる」、「安心して生み育てることができる」姿になっているかの指標として、「認可保育所・小規模保育事業所の定員数」及び「安心して産み育てることができると思っっている人の割合」で目標値に対する達成度を表すこととしております。

次に、奥川委員からは報告書5ページ3②について、市の負担が増えていることは、子育て支援課だけの問題だけではなく学校教育課においても同様の課題が出ていると推測する。「体制強化が求められている」と記述されているが、今後どのように対応されるのか。という御質問をいただいておりますのでお答えします。多種多様な子育ての相談に対応するため、AI技術を活用する新たな子育て相談機能の構築を図るとともに、専門性の高い研修会への参加及び勉強会の実施など、さらなる職員の資質向上に取り組んでまいります。

続いて、北川委員から御質問をいただいております。まず、施策マネジメントシートについては、「である調」が基本であるので、「ですます調」で記載されている箇所（5ページ3の①）を修正してください。とのことでありますので、こちらは「である調」に修正させていただきます。申し訳ありませんでした。次に、5ページ4の②の中で、「不育治療については、利用件数が少なかった」ということが記載されているが、その理由及び今後の対応について教えてください。との御質問をいただいておりますのでお答えします。不育症治療の利用件数が少ない理由としましては、専門的に治療を行う医療機関がまだ少ないこと。また、市民に「不育症」自体が認知されていないことや、不育症治療費助成制度が周知されていないことが要因と考えられます。不育症治療費助成制度につきましては、市のホームページ及び焼津市健康ガイドへの掲載を行っておりますが、今後、医療機関を中心にポスターの掲示とチラシの配布などを行うとともに、より一層医療機関と連携を図り制度の周知に努めてまいります。以上、子育て支援課に関する御質問の回答とさせていただきます。

<p>増田保育・幼稚園課長</p>	<p>私からは、保育・幼稚園課に関する御質問にお答えをさせていただきます。山竹委員からは、子育てに関しては「病児保育」というサービスもあるようですが、焼津市内でそのサービスを提供できる場所はありませんか。という御質問をいただいておりますのでお答えします。病児保育は、昨年10月より大井川保育園で、専用室を設けて実施しています。利用実績は、昨年度が延べ4人、今年度が延べ6人となっています。大井川保育園では、もともと病後児保育を実施していましたが、対象を病気の回復期には至っていないが、入院治療を要せず、医師から病児保育を利用することが可能と診断された子どもにまで拡大しました。ただし、学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症の場合は、利用できません。他市の例では、開業医に併設したり、専用室のほかに隔離室を設けたりして、感染症の子どもも受け入れしているところもありますので、本市においては感染症の子どもへの対応が、今後の課題となっています。</p> <p>次に、北川委員からは、ページ5 3の③の中で公立幼稚園（旧焼津地区）の3年保育の実施、公立幼稚園での預かり保育の実施について要望が出されているので、それらについての基本的な考え方（特に実施困難であればその理由）を公立幼稚園保護者により一層周知してください。との御意見をいただいておりますのでお答えします。毎年、公立幼稚園のPTAから要望書が提出され、これをもとに教育長と全PTA会長との懇談会を開催しており、今年も10月23日に開催する予定になっています。3年保育については、以下の理由により、これまで市長が議会で答弁してきたとおり、現時点においては実施する考えはない旨、説明させていただいております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 焼津地区の幼稚園については、先に私立幼稚園ができ、空白地域を埋める形で、公立幼稚園ができ、当初より私立幼稚園が主体的な役割を果たしてきたという経緯があること。 2. 現在、少子化が急速に進む一方で、保育所に対するニーズが非常に増えており、私立幼稚園でも12園全てが定員割れをしている状況であること。 3. 市として、限られた財源をどこに振り向けるかを考えたとき、子ども・子育ての分野では、待機児童が発生し、受け皿が不足している保育ニーズへの対応が最優先課題となっていること。 4. 幼稚園のニーズに対しては、焼津地区には私立幼稚園があり、受け皿は十分確保されているため、私立幼稚園の就園奨励費補助を大幅に拡充し、保育料の面では私立幼稚園を利用しやすい環境を作っていること。 5. 仮に、焼津地区の公立幼稚園で3年保育を実施しようとした場合、1学年増えるため、職員を新規に採用する必要があること、また、園によっては、3歳児用の保育室を確保するための施設改修が必要となることなどから、市の財政負担が大きいこと。などです。3年保育の実施についての要望は、代々PTA会長間の引継事項になっているとのことであり、毎年、要望として出されているのが現状であります。預かり保育の実施については、当初、今年度から公立幼稚園の保育料を私立幼稚園並みに値上げすることを予定していたため、同
-------------------	--

	<p>時にサービスの向上を図るため、預かり保育の実施を検討していましたが、国が幼児教育の無償化の方針を示したことから、公立幼稚園の保育料の値上げを見送ったため、預かり保育の実施も見送った経緯があります。新たな動きとしましては、待機児童対策の一環として、公立幼稚園の認定こども園への移行について、検討を始めております。認定こども園になれば、3年保育も預かり保育も同時に実現することになりますが、相当な財政負担を伴いますので、少子化の進行との兼ね合いもあり、これから十分な検討が必要になります。こうしたことも踏まえ、PTAに対しては、機会を捉えて、丁寧な説明をしていきたいと考えております。以上、保育・幼稚園課に関する御質問の回答とさせていただきます。</p>
<p>富田社会教育課長</p>	<p>私からは、奥川委員から施策マネジメントシートについて、平成30年度からの評価項目について御質問をいただいておりますので、施策主管課長を代表してお答えさせていただきます。「成果指標が果たして適切か」といった意見が出た折、「年次経過を見る必要があるのでは」という答弁を受けた覚えがある。毎年変えるものではないとしたならば、完璧なことは難しいにしても多くの人が納得できる項目の検討をお願いしたい。との御質問をいただいております。</p> <p>成果指標について設定の考え方をお答えいたします。今回提示いたしました「施策マネジメントシート」につきましては、第6次総合計画に沿って作成しています。この計画の策定にあたり、成果指標の設定について「市民意識調査に頼らない」「容易に測定できる」「目標達成度を数値化できる」ことを踏まえ、分かりやすいものを選択しています。例えば、集客施設などにおいて「魅力ある企画・施設」は、利用者数に比例すると考え、基礎的なデータであり、他市の類似施設との比較も可能であることから成果指標としています。また、達成の段階を考慮するケースや対象者の意識・意欲を高める目的であればアンケート等の満足度を成果指標に設定する場合があります。第6次総合計画は平成30年度から8年間の期間で4年ごとに見直していく予定です。委員のおっしゃるとおり、「多くの人が納得できる項目」にしていきたいと考えています。以上です。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>説明が終わりましたけれども、施策ごと御意見等を伺っていきたく思います。まず、御質問のあった委員よろしいですか。</p>
<p>奥川委員</p>	<p>ありがとうございます。市の施策マネジメントが大変前向きに考えてくださっていてありがたいです。ただ、児童相談所でなければ出来ない内容も最近が多いと思うが、そこがパンク状態であるという話も聞いている。市で出来る事は研修等を通してやっていただける姿勢はありがたいと思うが、県の方でまだ出来る事はないのかと考えて質問させていただきました。ただ、市の姿勢は大変前向きでありがたいです。</p>

佐藤教育長	<p>ありがとうございます。その他、どうでしょうか。</p> <p>よろしいですか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により「学校教育の充実」について説明)</p> <p>(補足説明)</p>
近藤学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、静岡県の教育振興基本計画『『有徳の人』づくりアクションプラン』と同じ調査項目を使用しているの、市としての経年変化だけでなく、県の数値との比較を行うことができる。成果指標のA、Bいずれも、県の数値を上回っており、県よりも高い水準にある。 <p>事前質問について回答します。山竹委員から御質問をいただいております。6 ページ 2 の施策の目的の表は、平成 32 年度まで欄がありますが、32 年度の対象指標・成果指標には数値がはいっていません。これには意図があるのでしょうか。という御質問をいただいておりますので、32 年度の対象指標・成果指標に数値が入っていないことの意図についてお答えします。</p> <p>意図はありません。記載漏れです。申し訳ありませんでした。この成果指標は、県の教育振興基本計画『『有徳の人』づくりアクションプラン』と同じ調査項目を使用しておりますので、市としての経年変化だけでなく、県の数値との比較を行うことができます。昨年度末に、本年度スタートする「第 6 次焼津市総合計画」を策定した際に、28 年度を現状値として 33 年度の目標値を設定しました。「A 知～授業内容を理解する小・中学生の割合」は、過去 5 年間の県の最高値である 83.5%を 0.1%上回るということで「83.6」に、「B 徳(心)～自己肯定感をもつ小・中学生の割合」は、過去 5 年間の県の最高値である 73.7%を焼津市の 28 年度の 76.9%が上回っているの、それを 0.1%上回るということで「77.0」としました。これを基に考え、32 年度の目標値を、Aは「83.4」に、Bは「77.0」としてあります。対象指標「A 児童・生徒」の 32 年度の見込み値は「10,653」です。</p> <p>続いて、大石委員からの御質問は、教育センター事業により、若手講師や教師経験 2 年目の若手教員の指導力向上が図られていることは大変喜ばしいこととあります。施策の課題にも書かれている通り、今後、指導を受ける教員の対象を広げていくことができれば、更なる学校力向上が期待できます。教師の対象を広げる際に、本人の希望のみならず、保護者の意見等、第三者評価を参考にして指導が必要な教師を選考することは難しいことでしょうか。保護者の中には、色々な意見や不満な部分を直接先生や学校に伝える方もいます。ただ、その方々だけの意見では、一部のみ偏見であるのか、大方の保護者の意見を代弁しているものなのか、判断しにくいところがあり、学校側の対応も限られると思います。大半の保護者は先生のやり方に不安や不満を感じていることがあっても、直接先生や学校へ言うことには高いハードルあって、我慢してしまうということが多いように感じます。保護者が日頃感じている静かな声を学校</p>

へフィードバックでき、大方の意見を集約できれば、よりよい教育現場への改革も進めやすいと思います。先生方への精神的負担を大きくしてしまう危険性があるとは思いますが、保護者の声を積極的に広く集約するために、現在何か工夫をされていることはありますか。という御質問をいただいておりますので、教育センターの指導を受ける教員を保護者等の第三者評価を参考にして選考することと、保護者の声を積極的に広く集約するために工夫していることについてお答えします。

教育センターの指導を受ける教員を保護者等の第三者評価を参考にして選考することは、現在、考えておりません。教師としての指導力を向上させるための研修は、若手・ベテランを問わずすべての教員に必要です。そのため、各学校では校内研修に熱心に取り組んでいます。しかし、若手教員、特に臨時的任用講師は、指導力が不足しているにもかかわらず、これまで学校内では十分な研修の機会を確保することができなかつたので、昨年度から教育センターで「教師力向上研修」を行うことになりました。本年度、教職経験2年目教員まで対象を広げ、来年度はさらに3年目まで拡大することを考えておりますが、基本は若手教員を対象に考えております。希望による訪問研修も受け付けておりますが、校長の推薦又は教員本人の希望によるものとしております。学校現場では、OJT研修やメンター制度など工夫した取組も進んでいます。教育センターは、こうした各学校の取組を支え、教師の指導力の向上を図ってまいります。もちろん、保護者の意見を学校運営の中に反映させていくことは必要でありますので、保護者の声を受け、学校で教員を指導していくときに、教育センターもそれにかかわっていきます。委員ご指摘のとおり、保護者の中には、先生のやり方に不安や不満を感じても、直接先生や学校へ言うことには高いハードルあって、我慢してしまうという方も多いと思われまます。可能であれば、担任の指導に疑問や不満を感じた場合には、遠慮なく担任に直接聞いていただくことが一番ですし、それが難しければ、学年主任、主幹・教務、教頭等、どの教員に相談していただいても構いません。学校は、こうしたことを自然にしていだけるような充実した信頼関係を築いていかなければなりません。多くの学校では、家庭訪問や保護者面談だけでなく、保護者が自由に相談できる日を設けております。定期的に行われる学校評価でも、自由記述欄を設けて、保護者や地域の皆さんから広く意見を求めています。学校公開日に、昇降口に保護者アンケートとポストを置いて、広く意見を集約している学校もあります。今後も、さらに積極的に保護者の声に耳を傾け、教師の指導力を向上させるよう学校を支援してまいります。以上、御質問の回答とさせていただきます。

佐藤教育長

学校教育課長からの説明が終わりました。この施策について、御意見・御質問がありましたらお願いします。御質問のあった大石委員いかがでしょうか。

大石委員

ご丁寧な回答ありがとうございました。保護者としては、先生を批判するよ

佐藤教育長	<p>うなことになってしまった場合、先生の心情を害してしまい自分の子に何か影響を及ぼすのではないかと思ってしまう、なかなか言えない親がいると推測したので質問とさせていただいた。学校単位でいろいろと工夫していただいて、保護者の声なき声というものを常に意識されているという回答をいただきましたので安心しました。これからも、よろしくお願いします。</p> <p>他によろしいでしょうか。それでは、次の施策に入ります。社会教育課長、お願いします。</p>																
富田社会教育課長	<p>(事前配付資料により「生涯学習の推進」について説明) (補足説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の意図は、「自らが学び、社会に活かすことができる。」とした。 ・成果指標は、「各種講座の参加者数(市内9公民館の利用者数)」、「天文学館・図書館の利用者数」とした。 <p>事前に頂いた御質問について回答させていただきます。まず、奥川委員からの御質問になります。9ページ4②について、和田地域交流センターの更新については、市としても並々ならぬ願いや思いを込めていると感じている。駐車場が常に空いていないことからすると施策が成果を上げていると思われるが、現段階での手ごたえはいかがなものか。今後、多面的な視点からの細かな分析を切にお願いしたい。という御質問をいただいておりますのでお答えします。</p> <p>和田地域交流センターにご着目いただきありがとうございます。同センターは、焼津市公共施設マネジメントのモデル事業として、「地域の交流拠点の創出」「耐震化」「和田地区の児童・生徒数の減少」などを背景に和田公民館の再編と多機能・複合化を行ったものです。現段階の手ごたえを感じている点を項目別に説明します。</p> <p>【公共施設マネジメント】工事前後の床面積比較</p> <table border="0"> <tr> <td>和田小学校南校舎を改造</td> <td>±</td> <td>0 m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多目的ホールの増築</td> <td>+</td> <td>654.76 m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>和田幼稚園の解体(H29)</td> <td>-</td> <td>641 m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旧和田公民館の解体(H30)</td> <td>-</td> <td>902.25 m²</td> <td>公共施設合計-888.49 m²</td> </tr> </table> <p>【交流拠点の創出】</p> <p>①利用者の増 平成30年5月～9月 延べ14,870人(昨年同時期比128.72%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールの利用、広い駐車場…市外からの利用者増、コンサート <p>②利用者層の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校…共用施設の利用、交流施設探検の実施(3、4年生) ・子育て世代の利用…ふれあいホールの利用。認知度アップを目指す。 ・学生・地域の人…1階多目的スペースの利用。自習や簡単な打ち合わせ。 <p>③多世代の交流</p>	和田小学校南校舎を改造	±	0 m ²		多目的ホールの増築	+	654.76 m ²		和田幼稚園の解体(H29)	-	641 m ²		旧和田公民館の解体(H30)	-	902.25 m ²	公共施設合計-888.49 m ²
和田小学校南校舎を改造	±	0 m ²															
多目的ホールの増築	+	654.76 m ²															
和田幼稚園の解体(H29)	-	641 m ²															
旧和田公民館の解体(H30)	-	902.25 m ²	公共施設合計-888.49 m ²														

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のクラブ活動に公民館講座生が講師を務める(囲碁、手芸等)。 ・公民館講座生と小中学生が歌やレクリエーションで合同開催(予定)。 ・小中学生、放課後児童クラブ、地区内幼稚園児が公民館まつりに参加 ・手づくりお化け屋敷の実施で地区内外の子ども 100 人が参加。 <p>④防災拠点…自主避難者 7/28 台風 9 人が避難(うち、7 人が外国人)。</p> <p>以上のほか所感として、公民館が、学校に隣接していることで子どもたちとの触れ合う機会が多くなり、挨拶を交わし合うことができる。地域の誰もが気軽に訪れていただける公民館を目指したい(和田公民館長)。</p> <p>次に、北川委員からは3点ほど御質問をいただいております。まず、施策マネジメントシートについては、「である調」が基本であるので、「ですます調」で記載されている箇所(9ページの3)を修正してください。ということですが、こちらは、申し訳ありませんでした。修正させていただきます。次に2つ目の御質問になります。9ページの3の①ア及び②については、他の施策と比べて分量が少ないので、もう少し加えるものがないか検討してみてください。という御質問をいただいておりますのでお答えします。9ページの3の①アについて、住民の役割として「コミュニティ活動を通じて、地域の課題解決に努める」が記載漏れでしたので、追加します。②については検討します。</p> <p>そして、16ページの項目3中、(市内公民館の利用者数)を(市内9公民館の利用者数)に訂正してください。ということですが、大変申し訳ありませんでした。修正します。以上、御質問の回答とさせていただきます。</p>
佐藤教育長	説明が終わりました。質問があった委員さんはいかがでしょう。
奥川委員	丁寧にありがとうございました。良い点を是非、市民にアピールしていただきたいと思います。和田地域の人にも地域を育てようとする意欲が形として出来ていることをアピールしていただいて、自信を持って交流センターを育てるような方向に持っていただければ、ありがたいなと思います。
佐藤教育長	他によろしいでしょうか。それでは、次の施策の説明をお願いします。
杉本文化財課長	<p>(事前配付資料により「芸術文化と歴史伝統のまちづくり」について説明) (補足説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の目的として、対象は市民、意図は「芸術文化や歴史伝統の活動を通して交流を深める」とした。 <p>事前質問について回答します。最初に山竹委員から御質問をいただいております。10ページ2の施策の目的の表は、平成32年度まで欄がありますが、31年度・32年度の対象指標・成果指標には数値がはいっていません。これには意図があるのでしょうか。という御質問をいただいておりますので、「芸術文</p>

	<p>化と歴史伝統のまちづくり」における対象指標・成果指標についてお答えいたします。</p> <p>対象指標・成果指標の未記入については、特段の意図があるものではありません。なお、それぞれの数値ですが、「対象指標」である「人口」は、30年度の見込み値である137,935人と同じ数値が31、32年度に入ります。「成果指標」については、Aの「文化会館の利用者数」は、31年度は365,000人、32年度は369,000人となり、第6次計画の最終年度になります。33年度は372,000人を目指す計画となっています。また、Bの「文化財関連施設の入館者数」は、31年度は28,500人、32年度は28,700人となり、第6次計画の最終年度になります33年度は29,000人を目指す計画となっています。</p> <p>続いて、北川委員からは、施策マネジメントシートについては、「である調」が基本であるので、「ですます調」で記載されている箇所（11 ページ3の①）を修正してください。ということでありますが、こちらは、申し訳ありませんでした。修正させていただきます。以上でございます。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりました。委員の皆さんから御意見や御質問がありましたらお願いいたします。</p>
北川委員	<p>字句等修正の指摘あり</p> <p>11 ページ3の③の文中「…素晴らしいと声が…」→「…素晴らしいとの声が」に修正。4の②の下から2行目の句点なしの指摘。</p>
佐藤教育長	<p>修正をお願いします。</p>
山竹委員	<p>小泉八雲記念館10周年で利用者数が増えて、目標値を超えている状態になりましたが、今後の目標値の設定は変わるものなのか。</p>
杉本文化財課長	<p>基本的には変えませんが、記念事業等の年によって変えていると、目標が変わってしまうので、過去の実績、数年の平均値をとり高めの設定をして、がんばって行こうと目標を立たせてもらっている。</p>
佐藤教育長	<p>よろしいですか。では、次の施策の説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により「スポーツの振興」について説明) (補足説明)</p>
松永スポーツ課長	<p>・施策の目的として、対象は市民、意図は「スポーツを楽しんでいる」とした。</p> <p>事前にいただきました御質問に御回答させていただきます。北川委員から</p>

	<p>は、13 ページ3の③の意見等がすべて総合教育会議から出されたものである ので、他に市民等から出されたものがあれば一部入れ替えるか又は追加してく ださい。という御質問をいただいておりますのでお答えします。平成 29 年度 の振り返り、評価の時点では、報告書に記載されている内容が主なものとなり ます。スポーツ振興を図るうえで、今年度より新たな部が設置され、観光、文 化とともに交流推進部として事業を進めていく中でご意見をいただいている ものもありますので、そちらにつきましては、次年度に実施いたします平成 30 年度の事業評価の中で反映させていただく予定であります。以上、御質問 の回答とさせていただきます。</p>
佐藤教育長	<p>スポーツ課からの説明が終わりました。委員の皆さんから御意見や御質問が ありましたらお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議第 10 号「焼津市教育委員会事業評価報告書について」、お諮り したいと思いますが、承認としてよろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>異議なし</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。それでは、議第 10 号は承認されました。</p> <p>続きまして、報告事項に移ります。報告事項の 1 番、平成 30 年度 9 月市議 会定例会一般質問について、説明をお願いします。</p>
中野事務局長	<p>(事前配付資料、当日配付資料により説明)</p> <p>(説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局関係では、5 人の議員から一般質問があった。また、防災 部に「主な避難所となる各小中学校の地下水井戸の現状と防災井戸の設置」 に対する一般質問が 1 人の議員からあった。 ・児童虐待の状況と現状に対する支援体制、働き方改革による諸問題、学校給 食の配送車・各小中学校の配膳室の空調設備の整備、地域の状況に応じた施 策と場外舟券売場の臨時駐車場拡大問題、焼津市の教育力向上に向けて、子 どもたちにも安全なまちづくりに対する質問があり、教育長が答弁した。
佐藤教育長	<p>(補足説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待について、昨年度は学校から 41 件、市教委から 3 件、計 44 件につ いて子ども相談センターに通告している。 ・学校給食の温度管理について、保冷剤等の入った食管で工夫できないかと思 っている。 ・場外舟券売場の件については、議会答弁した通りである。市議会において、 設置請願を賛成多数で通っていることを教育委員会としては尊重したい。

<p>佐藤教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校については、県の割合と比べると少ない状態である。小学校は1学年に1名、中学校は1学級に0.8人ぐらい、年間30日以上欠席した児童生徒がいるとご理解いただきたい。 <p>御意見・御質問等、いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、報告事項の2番、平成29年度教育費決算について、説明をお願いいたします。</p> <p>(事前配付資料により説明)</p> <p>(説明要旨)</p>
<p>中野事務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の教育費の決算額は56億3,292万5,369円で、昨年度と比較すると14億3,790万6,774円の増額となったが、これは主に焼津型複式新公共施設整備事業に伴う、和田地域交流センター整備事業に要した建設費である。 ・教育総務課では、小学校13校の校舎施設の維持管理や旧焼津地区小学校10校の児童用机・椅子1,077台の更新、小川小学校仮駐車場整備工事、小川小学校受水槽移築工事などの修繕工事や小学校8校・中学校7校の消防用設備修繕、小学校9校・中学校5校のプールろ過器不良箇所修繕などを行った。 ・学校教育課では、教員の大量退職期を迎えるにあたって必要となる、若手を中心とした教師の教師力強化や児童生徒への学習支援、新学習指導要領に対応するための英語教育の充実などを目的に、焼津市の教育力向上を目指して焼津市教育センターを設置した。 ・学校給食課では、平成27年度から実施している「やいちゃんランチの日」を今年度も開催した。また、平成28年度から実施している、給食センター保護者試食会を1月に小中学校児童生徒の保護者を対象に実施した。昨年度、好評だったことから、2日間開催し延べ64人の参加があった。 ・社会教育課では、家庭教育学級を開設し、17学級805人が参加するなど家庭教育力の充実を図った。家庭教育ネットワークを中心に、家庭教育相談事業を行った。地域の課題の解決を目指した公民館主催講座を開催し、生涯教育の推進に取り組んだ。焼津文化会館、大井川文化会館、ディスカバリーパーク焼津では、様々な事業を行った。 ・スポーツ振興課では、焼津市とモンゴル国体育・スポーツ庁との間で締結した、オリンピックレスリングナショナルチーム並びにパラリンピック陸上競技ナショナルチームの強化練習実施に関する事業計画書に基づき、12月と3月にレスリングナショナルチーム、11月にパラ陸上競技ナショナルチームがそれぞれ強化合宿を実施した。 ・歴史民族資料館では、花沢地区の文化的景観の保存のための取り組み、花沢地区ビジターセンター整備事業として、花沢地区ビジターセンター整備のための土地建物購入及び基礎調査を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲記念館では、資料の展示、各種講座等の実施、小泉八雲顕彰会との連携などを行った。また、平成 29 年度は、開館 10 周年を記念した事業を年間を通して実施した。 ・図書課では、図書館利用に障害がある方の読書活動をサポートするための「アシストサービス」を開始した。 <p>続けて、北川委員からの事前質問をいただいておりますのでお答えします。監査において、指摘事項や指導事項等はありませんでしたかという御質問をいただいております。それに関する回答ですけれども、平成 29 年度決算審査での指示事項、指摘事項というのは通知されておられません。</p> <p>文化財課には、資料 53 ページの中の「…入館者数は 14,221 人である」は過去の事業評価であるので、「…入館者数は 14,221 人であった」に修正してください。図書課には、60 ページの③地区別貸出冊数の表中、焼津図書館は「近隣市町」、大井川図書館は「市外」になっているので表現を統一してください。</p> <p>とのご指摘をいただいておりますが、こちらにつきましては、来年度以降の表記に注意したいと思います。以上、説明と御質問の回答とさせていただきます。</p>
佐藤教育長	<p>以上説明が終わりました。29 年度の教育費決算について、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p>
北川委員	<p>字句等修正の指摘あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 16 ページ(6)「小川小学校受水槽移築工事を行いました。大富中学校北校舎屋根改修工事を行いました。」「…行いました。…行いました。」の文の接続を工夫していただきたい。 ・ 17 ページ(13)文中において、「施設面では…行いました。」の中で、焼津文化会館、大井川文化会館が重複している。 ・ 34 ページ 5 (1) 及び 37 ページ 6 (1) 「おこない」 → 「行い」 ・ 40 ページ 7 (1) 「および」 → 「及び」
佐藤教育長	<p>指摘箇所は、近日中に修正をお願いします。</p> <p>よろしいですか。次の報告事項、いじめ問題の対応、最近の小中学校の状況について、説明をお願いします。</p> <p>(当日配付資料により説明) (説明要旨)</p> <p>報告事項 3 「いじめ問題への対応」</p>
近藤学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月の小学校での新たないじめ問題の認知件数は 0 件。夏休み前に発見されたいじめ問題解消に向けて取組中。 ・ 8 月の中学校での新たないじめ問題の認知件数は 1 件であった。適切な対応をして解消に向けて取組中。いじめ重大事態の 5 番、26 番については大き

	<p>な変化はなし。今後も丁寧に対応して行く。</p> <p>報告事項4「最近の小中学校の状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連において、全国大会、東海大会での団体、個人の活躍が目立った。 ・志太地区英語話し方能力研究大会に参加し、焼津市の2人が中部大会に進出した。 ・志太地区理科研究論文審査会に出品し、3人が特選に選ばれた。 ・来年度に向けた児童生徒の調査が始まった。通常学級児童・生徒数は減少しているが、特別支援児童・生徒数は増加している。平成30年度の特別支援学級児童・生徒数は、現時点での可能性のある人数を算出。 ・8月の不登校について、小学生23人（昨年度13人）、中学生63人（昨年度59人）であった。スクールカウンセラーの訪問により適応指導教室とつながったケースもある。 ・8月の問題行動について、小学校3件（昨年度1件）、中学校3件（昨年度4件）であった。小学校は、金銭乱費、家出、その他。中学校は、粗暴行為2件、家出。 ・8月の交通事故について、小学校6件（昨年度0件）、中学校0件（昨年度2件）であった。6件とも、小学生が自転車に乗っていて自動車と衝突・接触した事故。一旦停止違反3件、交差点ではない所を横切ろうとしたもの1件、よそ見をしていて前に停車していた自動車に衝突したもの1件で、被害は1件のみ。危険な行動が目立ち、該当児童に厳しく注意した。この他に、同乗中の事故が2件。 ・中学校体育大会について、雨の影響で多くの学校が延期されたが、大会当日は競技に、係の仕事に、応援にと、一生懸命に取り組む生徒の姿が多く見られ、どの学校でも異学年のつながりが大切にされていた。 ・小学校の修学旅行について、9月に豊田小・焼津東小が実施された。残りの11校は、11月に実施予定。 ・中学校連合音楽会が、10月6日(土)、小学校陸上競技大会が10月17日(水)で予定されている。 <p>以上で報告を終わります。</p> <p>佐藤教育長 学校教育課から、いじめ問題と最近の小中学校の状況について説明がありました。これについて、いかがでしょうか。</p> <p>小学校6件の交通事故の学年は。</p> <p>近藤学校教育課長 小学校2年生男子、小学校3年生男子・女子、小学校5年生男子2名、被害が小学校3年生男子です。</p>
--	---

佐藤教育長	<p>よろしいですか。次の報告事項ということで、5番、全国学力学習状況調査焼津市の結果公表について、お願いします。</p> <p>(当日配付資料により説明) (説明概要)</p> <p>報告事項5 全国学力学習状況調査焼津市の結果公表について</p>
近藤学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の全国の結果が公表され、焼津市の結果を全児童・生徒の保護者などにできるだけ分かりやすく伝えるためにA3版の資料「焼津市の教育」を作成し、10月9日から10月16日の期間で配布する。また、各学校では、この市の調査結果とあわせて、学校でまとめた調査結果と個人の調査結果を配布する。 ・生活習慣や学習環境については、「決められたことができる」ということが言えます。具体的には、3つの楕円の中に書いてある内容が、毎年多くの子が「あてはまる」と回答したり、本年度「あてはまる」と回答した子が増加した項目です。特に、「自分にはよいところがある」と答えた子が増加し、過去最高値を示しましたので、自己肯定感が高まってきていると言えます。課題として、これから求められるのは、「自分で考えてできる力」ということが言えます。焼津市の子どもたちは決められたことはできるけれども、自分で考えてできる力をさらに伸ばして行きたいということになります。そのために、学校・家庭・地域、みんなで子どもたちに対して、「じっくり話を聴こう」、「じっくり話をしよう」、「たっぷり褒めよう」、「やってみよう!」を応援しよう、「生活のルールを作ろう」ということを「共育」をキーワードに呼びかけています。 ・教科については、国語で良かった点は、小学生は「目的や意図に合わせてわかりやすく書くこと」、中学生は「漢字を正しく読むなどの、言語の知識が身につけていること」、課題としては、小学生は「文の中で正しく漢字を使う力」、中学生は「文章の要点を捉えながら読む力」です。算数・数学で良かった点は、小学生は「図形や空間を正しくとらえ、測定したり、計算したりすること」、中学生は「図形の証明や数の論証などができること」、課題としては、「情報を読み取って、それをもとに考える力」です。理科で良かった点は、小学生は「科学用語などを正しく理解し、使えること」、中学生は「考えの理由を指摘したり、再検討したりすること」、課題としては、「資料を正しく読み取り、分析をし、的確に表現する力」です。こうした内容を、保護者にできるだけわかりやすく伝えるために、毎年このようなパンフレットを作成し配布しています。以上です。よろしくお願いします。
佐藤教育長	<p>学力学習状況調査の結果公表ということで、説明が終わりました。これについて、御意見・御質問はどうでしょうか。</p> <p>よろしいですか。それではその他の報告をお願いします。</p>

<p>社会教育課長</p>	<p>その他の1番、平成30年度公民館まつりの日程について、お願いいたします。</p> <p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月13日から11月18日まで焼津地区で、大井川地区は2月23・24日に開催する。
<p>佐藤教育長</p>	<p>今の社会教育課からの説明について、何かありますでしょうか。 それでは、次に、情報誌「DISCOVERY No.93」について説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p>
<p>石川ディスカバリーパーク 焼津館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の特別展として、「名探偵ナースとワンダーランドの秘宝」を9月4日から開催している。 ・プラネタリウムでは、「よい子のギリシャ神話」、「ちょっと大人のギリシャ神話」という番組を行っている。 ・9月15日から24日、秋のイベントを開催。 ・9月29日に子どもたちに向けた講演会「めざせ宇宙 知りたい 聞きたい 宇宙のこと」を開催する。
<p>佐藤教育長</p>	<p>ディスカバリーパークからの説明については、よろしいでしょうか。 以上で本日の議事は全て終わりましたが、全体をとおして何かありましたらお願いします。</p> <p>私から、場外舟券売場設置の件で1点報告させていただきます。学校への影響についてですが、静岡の競輪場の近くに西豊田小学校と東豊田小学校があるので、静岡市教委に確認したところ、各学校から影響はないとのことでした。静岡市に確認したので報告させていただきます。</p> <p>よろしいですか。それでは、本日の会議は以上とさせていただきます。</p> <p>次回の開催予定ですけれども、10月17日水曜日、3時半からこの会場で行いますのでよろしくをお願いします。以上、長時間ご苦勞様でした。</p> <p style="text-align: right;">【午後4時33分閉会】</p>